

2015年度 第2回入札監視委員会 議事概要

1. 開催日時 : 2016年3月7日(月) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 : 新関西国際空港株式会社 会議室

3. 出席者 : 委員3人(全員)

大阪学院大学 教授 南川 諦弘

京都大学 教授 小林 潔司

弁護士 米田 秀実

事務局

常務取締役、調達部長、財務部長、業務監査室長、監査室長

事務局員(2名)

(各審議案件の審議時は、各担当部所長が同席)

4. 議題

〈報告案件〉(1) 2015年5月1日～12月31日の契約方式別発注実績について

(2) 指名回避の運用状況について

〈審議案件〉(3) 抽出事案に関する入札及び契約の処理状況について〈審査〉

① 関西国際空港第1ターミナルビルトイレ他改修工事 (工事/全て)

② 関西国際空港1期航空保安施設用屋外キュービクル更新(調達)(物品等/一般競争)

③ 大阪国際空港エプロン照明灯(調達)(役務等/随意契約)

④ 関西国際空港上水・中水給水ポンプユニット更新工事(附属棟等)

〃

(エアプロラザ)(工事・役務等/全て)

5. 審議等の概要

〈報告案件〉

(1) 2015年5月1日～12月31日の契約方式別発注実績について

・対象期間に入札執行した工事案件17件(一般競争方式16件、随意契約方式1件)、
調査設計/役務/物品調達方式17件(一般競争方式5件、随意契約方式12件)の
入札執行状況を説明。

(2) 指名回避の運用状況について

・2015年5月1日～12月31日の指名停止業者(28社)の措置状況について
説明。

〈審議案件〉

(3) 抽出事案(4件)に関する入札及び契約の処理状況について〈審査〉

・各案件について工事概要、業者選定方法、入札経緯、入札結果等を総括的に説明。

① 関西国際空港第1ターミナルビルトイレ他改修工事

[工事/全て]

主な意見・質疑
1. 競争方式にもかかわらず見積り参加が1社となった要因は何か。また競争環境を構築するための工夫はしているのか？
回答・説明
1. ビル改修となるとビルを建築した元施工会社以外は応募しにくい実情がある。過去に取引実績がある業者などに当社から積極的に声掛けする等、競争環境を作るよう努めている。今後も工事内容に応じた有力業者の開拓を行っていきたい。

② 関西国際空港1期航空保安施設用屋外キュービクル更新（調達）

[調査設計・役務・物品調達契約/一般競争方式]

主な意見・質疑
1. 監視装置とキュービクルの関係性は？ 2. 監視装置改修とキュービクル更新を別発注としたことで、業務に支障は出ていないか？
回答・説明
1. 異常発生時にキュービクルから監視装置にデータが送信されてくる等、信号のやりとりをする関係性がある。 2. 電送の通信を確認する作業は発生するが、技術的には特に問題ない。

③ 大阪国際空港エプロン照明灯（調達）

[調査設計・役務・物品調達契約/随意契約方式]

主な意見・質疑
1. 随契にした理由として緊急性をあげているが、何故、発注までの時間が取れなかったのか？
回答・説明
1. 本件の前提となっているビル改修工事の設計変更などで照明灯調達のための要件確定が大幅に遅れた。一方で、完成スケジュールは遅らせることができないのでスケジュールが確保できなかった。

④ 関西国際空港上水・中水給水ポンプユニット更新工事（附属棟等）、（エアロプラザ）

[工事・役務等/全て]

主な意見・質疑
1. ポンプ工事を2つの場所（附属棟、エアロプラザ）に分けて発注しているのは何故か？ 2. 更新ではなく補修で対応できないのか？
回答・説明
1. それぞれの施工条件に応じて業者の応募要件を変えている。工事の内容を見て、厳しい条件に合わせて一括発注するよりは、分けて発注する方がより多くの業

者参加が期待できると判断し、別発注することとした。

2. 部品の供給停止時期がきており、今後は修繕も困難であることから、全体更新することとなった。

〈審議結果〉

対象期間（2015年5月～12月末）の入札、契約の執行状況については、適正に処理されているものと認める。

以上